

文字情報基盤成果物の バージョンアップについて



2013 年9月

独立行政法人情報処理推進機構

バージョンアップの概要

- MJ文字情報一覧表
 - 行政実務で用いられる情報を拡充、国際標準化状況を反映した表記に変更、使い勝手を向上
- IPAmj明朝フォントのUCS実装追加
 - 698文字図形に新たにUCS符号を実装
- 公開予定時期
 - 2013年10月上旬～中旬
- 次期バージョン名
 - IPAmj明朝フォントVer.002.02
 - MJ文字情報一覧表Ver.002.03

- 平成24年4月に追加された戸籍統一文字に対応し、IPA明朝デザインポリシーに基づき新たな文字図形（MJ068053）を作成

戸籍統一文字	MJ文字図形
	
552710	MJ068053

2

- 行政実務で用いる情報を拡充、国際標準ISO/IEC 10646との対応情報をより分かりやすく変更（詳細は項目一覧案を参照）
 - 入管正字コード*の欄を新設
 - 戸籍実務で用いられる「新潮日本語漢字辞典」の検字番号欄を新設
- 「対応するUCS」、 「UCS実装」の表記内容の変更、および「対応する互換漢字」欄の新設
 - 互換漢字に該当するMJ文字図形名については、「対応する互換漢字」欄にそのUCSコードを表記するとともに、「対応するUCS」欄に正規化後のUCSコードを表記
 - IPAmj明朝フォントには「UCS実装」欄のUCSコードを実装する。





*平成23年法務省告示第582号第二項第四号で規定されたコード等

3

- 「対応するUCS」情報の更新**
 2012年度～2013年度に実施した調査結果に基づき、「対応するUCS」欄の値を以下のように更新。
 - 新規にUCS値を記載するもの・・・353文字
 - 対応するUCS値の記載を変更するもの・・・118文字
 (内 101文字は互換漢字の欄へ移行)
 - 対応するUCS値を削除するもの・・・12文字
 (ISOで審議中(9文字は拡張F,3文字は拡張E)の文字へ同定)
- 「UCS実装」情報の更新**
 - 698文字についてUCS符号位置を追加
 - 符号位置変更 2文字
 - 符号位置削除 2文字(新規に国際提案中)

符号化実装の削除を検討している文字

符号位置削除

MJ文字図形	現状
 MJ001865	 U+3C08 [4]
 MJ058862	 U+285C7 [0]

↑
規格表の当該符号位置に
示されている字形

↑
自治体における
外字作成実績数

- これらはISO 10646の「拡張F」へ新規の文字として提案中。
- 次期バージョン一覧表の「対応するUCS符号位置」欄からは削除し、フォントについては、「拡張F」が確定後に実装変更を行う。
- フォント実装変更に当たっては後方互換性を配慮した検討を行う。

符号位置変更

MJ文字図形	現状	変更先
𪛗 MJ000379	𪛗 U+35B4	𪛗 U+26BB6
𪛘 MJ006392	𪛘 U+4E54	𪛘 U+215E4
𪛙 MJ007306	𪛙 U+5188	𪛙 U+7F53

- ISOの統合規則に照らし、誤った割り当てであった。

[0]

- U+4E54の実装変更はしない
- U+215E4に対応した新たなMJ文字図形名を追加

[5]

- 入国管理局正字において、当該字形をU+7F53に対応付けられた
- MJ007306の対応をU+7F53に変更し、U+5188に対応付ける新たなMJ文字図形名を追加

[7]

規格表の当該符号位置に示されている字形
自治体における外字作成実績数

6

IPAmj明朝フォントについて(1/2)

- UCS実装について
 - MJ文字情報一覧表の「UCS実装」情報の更新に伴う、UCS実装の追加・修正（修正については、前項の考え方の通り）
- その他の修正・追加
 - 縦組み表示改善のためのフォントメトリクス調整
 - Ideographic Description Characters (U+2FF0 - U+2FFB) の追加実装

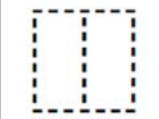
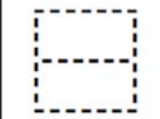
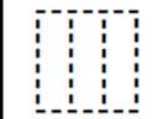
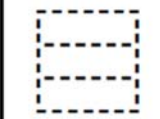
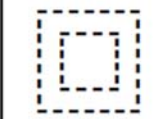
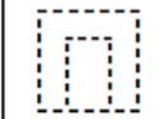
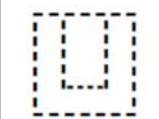
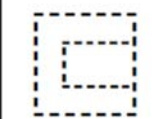
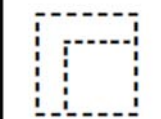
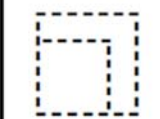
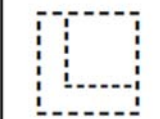
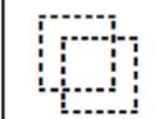
7

- UCS実装の優先順位^(*)の追加(赤字部分を追加)
 1. 常用漢字表に掲載されている字形
 2. 人名用漢字別表（戸籍法施行規則別表第二漢字の表）に掲載されている字形
 3. 住民基本台帳ネットワークシステム統一文字コードと対応するUCSが一致する字形
 4. JIS X 0213:2004に掲載されている例示字形
 5. UCSのJ欄（日本提案の字体）に掲載されている例示字形
 6. 法務省告示第582号別表1に掲載されている字形
 7. 康熙字典体
 8. 「市区町村が使用する外字の実態調査」の出現頻度

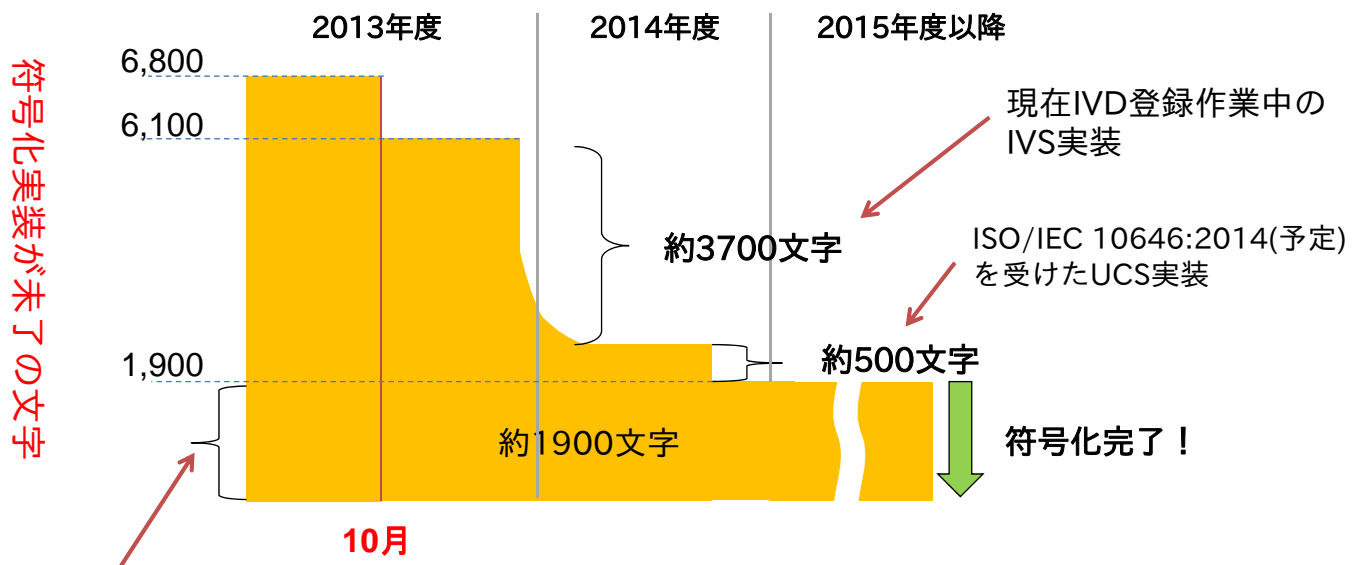
^(*)同一のUCSコードを持つ図形が複数ある場合において、フォント実装において対応付ける図形(デフォルトグリフ)の優先順位。

8

参考： Ideographic Description Characters(IDS)

2FF0	2FF1	2FF2	2FF3	2FF4	2FF5
					
2FF6	2FF7	2FF8	2FF9	2FFA	2FFB
					

9



2012年10月、ISO/IEC SC2 WG2 IRGへ提案済